

こどもの病気対策法①47

— 子どもの発熱、受診のタイミング —

小宅医院 小宅民子

毎年、この時期はインフルエンザや嘔吐下痢症などのウイルス感染症が流行します。さらに、今年の冬は、新型コロナウイルス感染症の流行も懸念されます。子どもが発熱し、体調を崩した時、いつ、どこに受診したらよいか不安になるかと思えます。

今年11月より発熱や風邪症状がある場合の相談・受診の目安が変わりました。

発熱などの症状がある場合は、直接「かかりつけ医」など地域の身近な医療機関に電話で相談して下さい。どの医療機関に相談するか迷う場合は「受診相談センター（097・506・2755）」に電話相談して下さい。受診相談センターは24時間対応しています。

まず、相談や受診の前に、発熱などの症状がみられたときは、幼稚園・保育園・学校を休み外出を控えて下さい。毎日、体温を測り記録して下さい。かかりつけ医に、電話で症状をくわしく相談し、かかりつけ医が診察できる場合は、マスクを着用し、指示

に従い受診して下さい。複数の医療機関を受診することは、感染拡大につながる恐れがあるので控えましょう。

かかりつけ医が対応できない場合は、かかりつけ医から紹介された医療機関に電話で相談し、受診して下さい。

大分県は、かかりつけ医などに相談する目安として、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合、重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合、上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合としていきます。

また、妊婦の方は、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに相談してください。小児については、小児科医による診察が望ましく、まずはかかりつけ小児医療機関に電話などで相談して下さい。

感染予防のため、3つの密を避け、正しくマスクを着用し、手洗い、消毒を続けましょう。

子どもの発熱、受診のタイミング 5つのポイント

- まずは、かかりつけ医や身近な医療機関に電話で相談
- 相談先に迷う場合は、受診相談センターへ電話で相談
- 相談・受診の前に、学校などは休み、体温を測定、記録
- 受診時はマスクを着用する
- 複数の医療機関への受診は避ける

